

## 2-3 私情協ネットワークの整備

私情協の情報ネットワークおよびWebサイトの機能を充実し、加盟大学への情報提供、加盟大学間による情報交流を拡大・促進するため、ネットワーク組織管理センター（センター長：北川 一、豊田工業大学）を継続して設置し、協議は運営委員会にて対応した。本年度は、以下の事業を実施した。

### （1）対外接続回線の増強とサーバ資源の拡張

本協会のWebサイトからの情報提供の拡大、教育情報交流システムの開設、サイバー・キャンパス・コンソーシアムのポータルサイトの構築などに伴う情報量の増大に対応するため、15年10月よりJOIN協会（東京理科大学構内）への接続回線を64kbpsから1.5Mbpsに増強した。そのため、本協会事務局への光ケーブルの引き込み工事、ルータ等接続機器の更新を行った。また、各種ポータルサイトから提供する動画像・音声など大規模な情報を蓄積できるよう、事務局にストレージ機を設置した他、Webサーバ、データベースサーバのディスク資源を賛助会員の協力を得て拡張した。

### （2）私情協イベントのライブ配信の実験

本協会が実施する大会、種々の会議等に多くの関係者が参加できるよう、講演や事例紹介、討議の様態などをインターネットによりライブ配信することとなり、本年度は大学情報化全国大会のプログラムを実験的に配信した。

大学情報化全国大会では、賛助会員の協力を得て会場とデータセンターをISDNで接続し、動画像・音声をリアルタイムで配信した。参加者は、本協会のWebサイトから事前にレジュメをダウンロードの上、研究室や事務室あるいは自宅などから居ながらにして参加できるようにした。動画像・音声の伝送容量は100kbpsでパソコン画面では10cm四方程度のサイズとなる。参加者募集の際、自宅などから接続する場合にはADSLなどのブロードバンド回線の準備を推奨するとともに、1週間前から私情協のWebサイトにテスト接続ページを設けて事前に接続確認できるようにした。

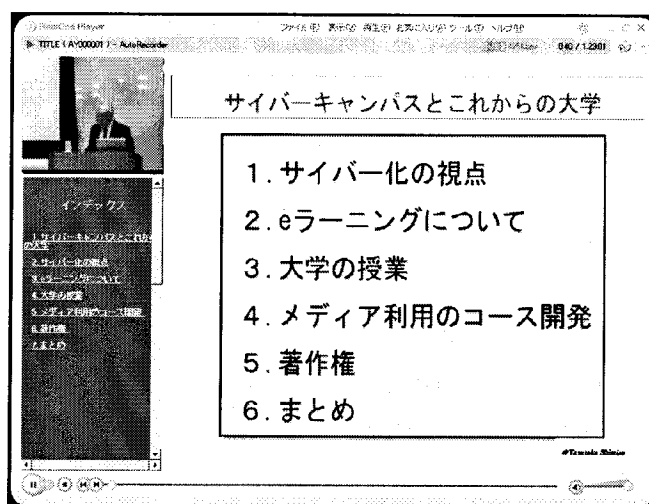
ところが、実際に運用してみると途中でシステムに障害が発生し、配信が途絶えてしまった。詳細な原因は不明だが、時に映像・音声をデジタル変換して

回線に送り出す機能が不安定になるとのことで、安定運用が確保されないとの判断から、大会以後の研修事業での活用は見合わせることにした。なお、ライブ配信の参加者向けの対応として、映像とスライドを編集の上、CD-ROMにて配布した。

今後は、安定運用可能なシステムについて賛助会員等の技術動向を見定めながら、必要に応じて本協会の各事業の中で検討することになっている。



【ライブ配信実施中の映像】



【スライドと映像を編集したオンデマンド版 (CD-ROM)】